

▽▲ 会社紹介 石崎汽船株式会社 ▲▽

愛媛支部

石崎汽船株式会社は1862年(文久2年)創業以来、瀬戸内海における旅客船運航を担ってきた。

過去には瀬戸内海でさまざまな航路を運航しており、昭和44年～平成11年(しまなみ海道開通)までは、水中翼船にて松山～尾道航路、昭和50年～昭和63年(瀬戸大橋開通)までは、水中翼船にて松山～三原航路を運航していた。

また、平成10年には尾道航路廃止に伴い雇用確保のため松山～門司航路を超高速船「シーマックス」にて就航するも燃料油価格高騰の影響によって航路廃止となった。

現在は、フェリー「旭洋丸」「翔洋丸」、高速艇スーパージェット「瑞光」「祥光」計4隻にて松山観光港～呉港、広島市宇品港を結んでいる。総乗組員数31名、松山近辺出身の乗組員が多く、和気あいあいとしている一方、日々お客様の命を運ぶ旅客船業務において安全第一、安全運航に努めている。

◆船舶の紹介◆

●フェリー「旭洋丸」(875総トン)・「翔洋丸」(817総トン)はそれぞれ内海造船瀬戸田工場にて建造、令和元年10月、令和2年8月に就航しており、300人乗船可能、自動車積載台数乗用車換算35台。2隻はバリアフリーへ対応しておりエレベーター、多目的トイレ、車椅子席も完備している。また、災害時への対応として、83トン運搬可能な清水タンクを設置しており、給水車42台分を陸上へ送水できる。停電時には船内発電機より一般家庭60世帯分を送電可能となっている。

●高速艇スーパージェット「瑞光」「祥光」(共に189総トン)は、日立造船神奈川工場にて建造し、旅客定員156人。約5000PS(2500PS×2機)の高速エンジンを搭載、推進器にはウォータージェット推進を採用しており松山観光港～広島市宇品港を1時間10分にて運航している。

「海員だより」